



令和元(2019)年度 生活困窮者の自立支援

生活困窮者が増加する中、最後のセーフティネットである生活保護に至る前の支援が重視されています。様々な支援事業の事例から、生活困窮者を支える体制整備の進め方、効果的な事業の実施、地域のネットワーク形成の手法などを学び、それぞれの地域の特性や事情を踏まえた具体的な支援のあり方を考えます。

研修の ポイント

- 「生活困窮者自立支援法」の概要や今後の動向について学びます。
- 対象者の特性に合わせた支援のひとつとして、発達障がい児・者の支援のあり方について学びます。
- 支援事業の事例紹介を通して、相談から自立に至るまでの支援を切れ目無く包括的に提供するための施策や実施について考えます。

開催要領

日程

令和2(2020)年2月3日(月)～2月5日(水) (3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

- 生活困窮者支援に関わる都道府県・市区町村の職員
- 社会福祉協議会の職員及び行政と協働実績のあるNPO法人団体等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員の方も参加可能ですが、市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください。

また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、お申込みは必ず議会事務局を通じてお願いします。

募集人数

40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

10,500円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和元年12月9日(月)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和2年

2月
3日(月)

- 11:00～ 入寮受付・昼食
- 12:30～ 開講・オリエンテーション
- 13:00～14:10 **講義** **生活困窮者自立支援制度とこれからの共生社会について**
厚生労働省 社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室
生活困窮者自立支援制度の本質的な意義と支援のあり方や、これからの地域共生社会等についてお話しいただきます。
- 14:25～15:35 **事例紹介** **釧路市における中間的就労の取組**
一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会 副代表 榑部 武俊 氏
地域共生社会の実現における「中間的就労」の多様な可能性についてお話しいただくとともに、釧路市における実際の取組をご紹介いただき、「中間的就労」を実施する際のポイントや課題について理解を深めます。
- 15:50～17:00 **事例紹介** **家計改善支援事業**
一般社団法人アルファリンク代表理事
特定非営利活動法人 ぎふNPOセンター 理事 有田 朗 氏
家計相談支援における多角的視点の重要性や、実際の相談事例をお話しいただき、家計相談に必要な知識や技術等の理解を深め、相談員に求められる役割について学びます。
- 17:30～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和2年

2月
4日(火)

- 9:25～10:55 **事例紹介** **地域共生社会と伴走型支援**
認定特定非営利活動法人 抱樸 理事長 奥田 知志 氏
地域共生社会が課題となっている中で、課題解決型と共に伴走型支援が課題となっています。困窮孤立の時代における支援の形をお話しいただきます。
- 11:10～12:20 **事例紹介** **一時生活支援事業**
認定特定非営利活動法人 大津夜まわりの会
主任相談支援員(社会福祉士) 今村 雅夫 氏
大津市から一時生活支援事業と自立相談支援事業を一体的に受託し、「アパート借り上げ方式」による全室個室シェルターを提供する大津夜まわりの会の取組をご紹介します。
- 13:20～14:30 **事例紹介** **就労準備支援事業**
北海道岩見沢市生活サポートセンターりんく 主任相談支援員 浅山 美保 氏
相談者一人ひとりの状態に応じた幅広い支援プログラムについて、また地域と連携した就労支援の取組等についてお話しいただきます。
- 14:45～15:55 **事例紹介** **子どもの学習支援事業**
愛知県高浜市福祉部地域福祉グループ 主幹 唐島 啓一 氏
学習支援に加え、中学・高校生への進路相談や不登校・中退防止支援、子ども食堂との連携など、地域を含めた多数の機関の協力のもと、子どもの貧困問題を「我がこと」として対応する高浜市の取組をご紹介します。
- 16:10～17:20 **講義・事例紹介** **発達障がい児・者の特性と支援のあり方**
滋賀県立精神保健福祉センター 所長 辻本 哲士 氏
発達障がい児・者の特性を理解し、学習や就労等の支援をどのように展開していくのかについてご講義いただきます。

令和2年

2月
5日(水)

- 9:25～15:00 **演習・ふりかえり** **生活困窮者自立支援制度における支援事業を効果的に実施するために**
九州大学大学院 統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行 氏
研修全体をふりかえるとともに、受講者同士で各自自治体の取組や課題を共有し合い、様々な主体との連携などによる効果的な事業の実施方法について考えます。
- 15:00～15:30 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。